

いなり寿司推進事業

自治体情報

人口 / 79,904人

標準財政規模 / 18,540 百万円

茨城県笠間市

担当課 産業経済部 商工観光課

電話番号 代表 0296-77-1101

実施主体 笠間市

関連ホームページ http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/inarizushi/

事業期間 平成 18 年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：10,000 千円（H 23）

名称	所管	金額（千円）
一般財源	—	10,000

施策のポイント

笠間のいなり寿司を活用した笠間PRにより、マスコミ等に大きく取り上げられ首都圏を中心に笠間の知名度が向上し、笠間のいなり寿司を目的にした来訪者の増加により、観光施設やまちなかの来訪者が増加した。

1 取組に至る背景・目的

笠間は、日本三大稲荷である笠間稲荷神社から連想される理由なのか不明であるが、昔から個性的な「いなり寿司」を取り扱う店が多くあり、特にくるみの入った稲荷寿司や蕎麦が入った稲荷寿司など隠れた名物があった。また、農業が盛んな笠間は材料となる農作物にも事欠かない。このような背景もあり、平成17年に笠間にゆかりのある観光ジャーナリストの提案により、食のまちおこしとして、以前から名物であった「いなり寿司」を活用したまちおこしを行う事を目的に笠間稲荷寿司推進会議（現：笠間のいなり寿司いな吉会）が発足し、コンテストや食の祭典の開催及び市外でのPR活動を実施している。



B級ご当地グルメ「笠間のいなり寿司」

2 取組の具体的内容

H18. 4 第1回 笠間お稲荷さんコンテスト（以後毎年1回開催）

H19. 2 第1回 笠間初午いなり寿司まつり（以後毎年1回開催）

H19.10 おいなりサミット2007・第1回 ひょいパク選手権（以後毎年1回開催）

※H23より商店街主催となり（門前ひょいパク選手権として開催）

H19.12 おいなりサミット2007・いなり寿司おひろめパーティー

H21. 8 子どもを対象にしたいなり寿司教室（以後毎年開催）

H22. 9 （一社）B級ご当地グルメまちおこし団体連絡協議会（通称：愛Bリーグ）加入

H23. 9 関東B1グランプリ in 行田出場（県内初）

H23.10 B級ご当地グルメサミット in 笠間

その他、県内外へ出展し笠間のいなり寿司を活用した笠間PRを実施



毎年全国からの公募により開催されているいなり寿司コンテストの選考の様子。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

笠間の新たな名物として位置づけることにより、「笠間のいなり寿司」を目的にした観光客を増やし、課題となっている閑散期の観光客と滞在時間の増加を想定。



笠間のいな吉は笠間のいなり寿司のPRのため、全国公募により誕生したキャラクター。

4 現在までの実績・成果

平成22年に、食を活用したまちのPRを目的した「B1グランプリ」を主催する一般社団法人B級ご当地グルメまちおこし団体連絡協議会(通称:愛Bリーグ)の関東支部会員に茨城県で初めて承認され、今年9月には「関東B1グランプリin行田」の出場や県内外の食のイベント参加により、マスコミなどにも取り上げられ全国に笠間のPRを実施した。



名物の長〜いいなり寿司巻きは今年は66.3mの新記録！使用された蕎麦は名産の常陸秋そば。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

市民主体とした組織化を図るため、当初、行政と店舗主体の組織である「笠間のいなり寿司いな吉会」を、まちづくりの観点から市民や職員ボラ

ンティアを巻き込んだ協働した組織づくりを進めている。

6 今後の課題と展開

市外、県外、全国の方々に「笠間のいなり寿司」を地域ブランドとして認知してもらい、その味を楽しみ、笠間に「笠間のいなり寿司」を目的したお客さんが訪れ、まちの活性化に寄与できる活動として展開する。



関東B-1グランプリin行田での出展の様子。「笠間のいなり寿司いな吉会」は県内で初めて愛Bリーグに登録。